

遠隔捕獲システムの開発

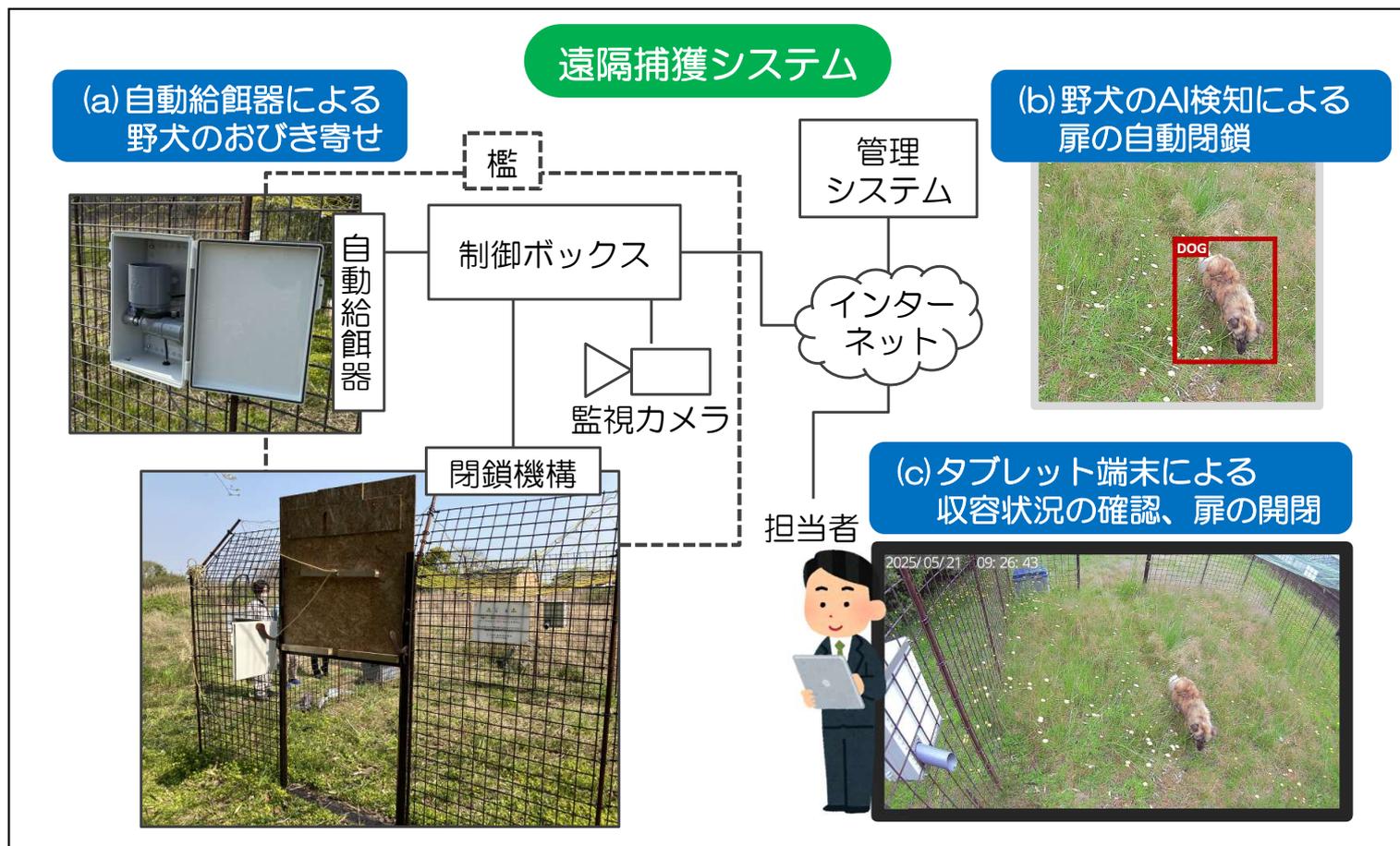
■支援の概要

野犬保護のために用いる野犬捕獲檻の運用には、定期的な見回りや給餌、猫など野犬以外の小動物を収容した際の解放、野犬収容時の迅速な保護など、多くの労力を必要とします。

これらを省力化するために、(a)野犬をおびき寄せるための自動給餌、(b)野犬のAI検知による自動閉鎖、(c)檻の遠隔監視と扉のロック・閉鎖が行える「遠隔捕獲システム」を、支援企業と開発しました。

■支援の項目

- ①野犬捕獲檻に必要とされる機能・仕様など、遠隔捕獲システムに関する製品企画支援
- ②檻の開閉に関する機構・電子回路の設計支援
- ③遠隔捕獲システムの実証実験



■支援の成果

- ①既存の野犬捕獲檻に後付けできる開閉機構や監視システムを構築しました。
- ②野犬捕獲檻の運用を省力化する「遠隔捕獲システム」として、令和7年3月に製品化しました。

※本システムは、「デジタル活用による野犬対策強化事業に係る遠隔捕獲システムの作製業務」として県から委託を受けて、開発したものです。